

5. 公共交通の目標達成に向けた施策

5.1 施策体系

本計画で定めた目標の達成に向けて、実施する施策を以下に示します。

表 施策体系

基本方針	施策	施策スケジュール		実施主体
		2025(R7)～ 2029(R11) 年度	2030(R12) 年度以降	
【基本方針1】 市外へ移動しやすい交通環境の実現（幹線交通の強化）	施策①：新たな軸となる基幹公共交通の整備	各種調査・検討 関係機関調整	各種調査・検討 関係機関調整	富谷市
	施策②：民間バス路線網の再編	随時調整・実施	随時調整・実施	富谷市 交通事業者
	施策③：基幹公共交通の拠点となる交通結節施設の整備	調査・検討	調査・検討	富谷市
	施策④：パークアンドライドの推進	調査・検討	調査・検討	富谷市
【基本方針2】 市内移動環境として「お出かけしやすい交通環境」の実現（フィーダー交通の強化）	施策⑤：市民バスの再編	再編調整・ 運行改善	運行改善	富谷市
	施策⑥：デマンド型交通の再編	再編調整・ 運行改善	運行改善	富谷市 交通事業者
	施策⑦：ライドシェアの導入	実施検討・導入 運行継続	運行継続	富谷市
	施策⑧：パークアンドバスライドの推進	実施	継続	富谷市
	施策⑨：短距離移動を支援する新たな交通の導入	調査・検討	都市拠点での 導入	富谷市
【基本方針3】 多様な関係者の連携・協働による「使いたくなる交通環境」の実現（利用しやすさの向上）	施策⑩：共通運賃・乗り継ぎ割引の拡充、MaaSの推進	割引の拡充 MaaS導入検討	継続	富谷市 交通事業者
	施策⑪：公共交通利用料金の補助	継続	継続	富谷市
	施策⑫：市民バスのバス待ち環境の改善	実施	継続	富谷市
	施策⑬：普及・啓発活動などのモビリティ・マネジメントの実施	実施	継続	富谷市
【基本方針4】 ゼロカーボンシティの実現に向けた交通施策の展開	施策⑭：環境に配慮した次世代モビリティの導入	継続	継続	富谷市 交通事業者

※  : 「施策①:新たな軸となる基幹公共交通の整備」にあわせて実施する施策

5.2 施策内容

各基本方針に基づく施策の具体的な取組内容を以下に示します。

基本方針 1

市外へ移動しやすい交通環境の実現（幹線交通の強化）

幹線交通の強化として、仙台市泉中央駅までの新たな軸となる基幹公共交通（地下鉄、BRT、都市型自走式ロープウェイ等）の整備に向けた調査・検討を進めるとともに、民間路線バスも含めた周辺都市へのアクセス利便性を高めるなど、多様な交通手段が選択できる交通環境の実現を目指します。

施策①：新たな軸となる基幹公共交通の整備

- ・ 幹線交通の強化として、仙台市泉中央駅までの新たな軸となる基幹公共交通として、これまで調査検討してきた「地下鉄」、「BRT（バス高速輸送システム）」に加え、新たに「都市型自走式ロープウェイ」の導入の可能性を調査し検討します。
- ・ 民間バス路線を含めた、多様な交通手段が選択できる交通環境を整備することにより、周辺都市へのアクセス利便性の向上を目指します。
- ・ 新たな軸となる基幹公共交通の整備について、道路渋滞の解消も含め、関係機関・周辺自治体との情報共有・連携を図ります。



写真：Zip Infrastructure(株)

新たな方策による基幹公共交通軸の基本要件

① 基幹公共交通軸の導入目的

富谷市内と仙台市泉中央駅を速達性、定時性の高い移動手段で結ぶことにより、富谷市から仙台市方面への公共交通での移動の利便性を大きく向上させる

② 基幹公共交通軸の運行区間の考え方

基幹公共交通軸は第一段階として仙台市泉中央駅～明石台地区を想定
 →泉中央駅から将監トンネル、国道4号にかけての道路混雑区間を避けることで、定時性の確保が可能
 →明石台地区に交通結節点を集約し、拠点としての機能を持たせる

③ 基幹公共交通軸の運行システム

見据える交通基幹軸の姿として「地下鉄の整備」、「BRT（バス高速輸送システム）の整備」に加え、新たに「都市型自走式ロープウェイ整備」の可能性を検討し、需要面の見込みや、事業化に向けた協議等に取り組む

基幹公共交通軸の区間 (想定イメージ)



施策①：新たな軸となる基幹公共交通の整備

これまでの基幹公共交通システムの検討内容

●地下鉄整備の調査検討概要（R4）

従来方式及びPFI方式による地下鉄整備を想定した場合の採算性を検討

- ・整備区間：仙台市泉中央駅～明石台地区（仙台市内に中間駅を1つないし2つ設置することを想定）
- ・概算事業費：354億～451億円
- ・事業採算性：開業後21～33年での黒字転換可能と試算
※上下一体方式及びPFI方式の場合

●BRT（バス高速輸送システム）整備の調査検討概要（R5）

FCバス・EVバスが走行する専用地下道による整備を想定した場合の導入可能性を検討

- ・整備区間：仙台市泉中央駅～明石台地区（泉中央駅の地下バスターミナルを整備した場合と既存のバス停を活用した場合の2パターンを想定）
- ・概算事業費：85億～208億円
- ・事業採算性：開業後13～30年での黒字転換可能と試算

今後実施する基幹公共交通システムの整備検討

●都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査（R7）

近年実用化が期待される新たなモビリティとして、北海道石狩市や沖縄県豊見城市などで、導入に向けた調査や検討が進められている「都市型自走式ロープウェイ」について、令和7年度に導入可能性調査を実施予定

- ・調査区間：仙台市泉中央駅～明石台地区
- ・調査内容：導入ルートの検討、導入に向けた物理的条件の整理、概算事業費の検討、事業スキームと収支計画の検討、事業化に向けた課題の整理

■実施主体：富谷市

■実施スケジュール

	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度以降
実施期間	関係機関との調整					
	事業実施に向けた各種調査及び検討					

施策②：民間バス路線網の再編

■取組の概要

- ・本市の主要な公共交通手段である路線バスについて、路線の維持・確保に向けて関係機関との調整を図ります。
- ・市民バスとのダイヤ連携や、乗り継ぎ運行の拡大等バス事業者と公共交通に関する市民ニーズの共有を図り、運行サービスの強化を図ります。
- ・バス停や表示案内の分かりやすさ向上、バス近接情報（運行情報）の周知及び利用促進を図ります。
- ・施策①「新たな軸となる基幹公共交通の整備」にあわせ、一部路線の交通結節点への集約などの検討を行います。
- ・定時運行の妨げとなる幹線道路における渋滞対策について、関係機関・周辺自治体との情報共有・連携を図ります。
- ・市のイベント等における公共交通の利用促進策について周知を図ります。

■実施主体：富谷市、交通事業者

■実施スケジュール

実施期間	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度以降
	→ 随時調整・実施					→ 随時調整・実施

施策③：基幹公共交通の拠点となる交通結節施設の整備

■取組の概要

- ・施策①「新たな軸となる基幹公共交通の整備」にあわせ、拠点となる明石台地区に、民間路線バス、市民バス、タクシー、パークアンドライド等に対応した交通結節点の整備を検討します。

基幹公共交通との結節点(想定案)



■実施主体：富谷市

■実施スケジュール

実施期間	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度以降
	→ 調査・検討					→ 調査・検討

※施策①「新たな軸となる基幹公共交通の整備」に連動して実施

施策④：パークアンドライドの推進

■取組の概要

- ・施策③「基幹公共交通の拠点となる交通結節施設の整備」にあわせ、明石台地区において、バス、タクシー等公共交通機関の発着機能の他、一般駐車場を整備し、仙台方面へのマイカー移動者が公共交通を利用できるよう検討していきます。



■実施主体：富谷市

■実施スケジュール

	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度以降
実施期間	調査・検討					調査・検討

※施策①「新たな軸となる基幹公共交通の整備」に連動して実施

市内移動環境として「お出かけしやすい交通環境」の実現
(フィーダー交通の強化)

基本方針 2

市民バスやデマンド型交通等の利便性を向上させるとともに、公共交通を移動手段として市内を移動する人々が快適に移動できるように、市全域におけるきめ細かな交通サービスの提供を目指します。

施策⑤：市民バスの再編

■取組の概要

- ・市民バスの継続運行と、利用動向を踏まえた運行改善に取り組みます。
- ・利用実態調査やアンケート調査によって把握した、遅延等の利用者の不満を解消するための再編案を検討します。
- ・富谷市複合図書館「ユートミヤ」や新病院候補地へのアクセス向上を図ります。
- ・イオン富谷店における市民バスから低廉な運賃で民間路線バスに乗り継ぎ、泉中央まで行くことができる「乗継ぎ運行」について、利用方法等の周知啓発を行い、利用者の増加及び泉中央までの利便性の向上を図ります。



施策の期間	短期(~5年)	中期(~10年)	長短期(10年~)
施策の方向性	現状の課題を解決し、利便性を向上	路線バスの見直しとの連携、技術革新取入	新たな基幹公共交通軸との連携
目指す効果	→需要があるエリアでの運行本数増 →広範囲なエリアをカバーする運行形態	→民間路線バスや各種施設へのアクセスの強化 →MaaS等の活用による使いやすさの向上	→基幹公共交通を中心とする市全域での公共交通網を形成

■実施主体：富谷市

■実施スケジュール

実施期間	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度以降
	再編調整	運行改善				運行改善

施策⑥：デマンド型交通の再編

■取組の概要

- ・市北部や市東部の低密度地域全体をカバーする公共交通として、利用状況を分析し、利用者ニーズに柔軟に対応した運行形態の改善や、市民バスの再編と連動した運行エリアの見直し等を適宜行います。



■実施主体：富谷市、交通事業者

■実施スケジュール

実施期間	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度以降
	再編調整	運行改善				運行改善

施策⑦：ライドシェアの導入

■取組の概要

- ・地域交通の「担い手」「移動の足」不足解消のため、令和6年3月、タクシー事業者の管理の下で、自家用車・一般ドライバーを活用した運送サービスの提供をすることが可能となりました。（いわゆる「日本版ライドシェア」）
- ・また、市町村やNPO法人等が実施主体となり、自家用車を活用して実施するいわゆる「公共ライドシェア」についても、高齢化や免許返納に対する意識の高まりが進む中で、日常的な買い物や通院等の足として、交通空白の解消に向けて国が推進しており、本市においても今後導入について検討していきます。



出典：国土交通省

■実施主体：富谷市

■実施スケジュール

実施期間	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度以降
	実施検討・導入			運行継続		運行継続

施策⑧：パークアンドバスライドの推進

■取組の概要

- ・イオン富谷店におけるパークアンドライドの実施について、周知啓発を行い、仙台方面への通勤・通学の手段について、自家用車からバス利用への転換を促進することで、渋滞緩和や環境負荷の軽減を図ります。
- ・イオン富谷店におけるサイクルアンドバスライドを実施し、周知啓発により利用者促進を図ります。



■実施主体：富谷市

■実施スケジュール

図 イオン富谷店駐車場

実施期間	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度以降
	実施					継続

施策⑨：短距離移動を支援する新たな交通の導入

■取組の概要

- ・大清水地区・イオン結節点を中心とした短距離モビリティ導入のため、イオン富谷店における施設整備、車両調達、利用周知などの研究を行います。
- ・交通結節点として整備する明石台地区において、小型モビリティの結節点としても機能するため、施設整備、車両調達、利用周知などの研究を行います。

小型モビリティ分類

車両	TYPE-A	TYPE-B	TYPE-C	TYPE-D
主な活用局面	・都市部、郊外部問わず、近距離の日常的な交通手段	・観光地・商業地での回遊・周遊 ・訪問介護 ・防犯パトロール	・小規模配送やポーターサービス	・限定エリアでの低速域の移動
ユーザ像	・通勤・通学 ・子育てママ・パパ	・観光客 ・巡回事業	・宅配など法人	・高齢者
既存の移動手段	・自転車 ・スクーター ・徒歩	・乗用車/レンタカー ・バス ・タクシー	・商用バン・トラック ・2輪/3輪	・自転車 ・シニアカー ・徒歩
キーメリット	・2輪並みの駐車スペース ・転倒しない ・風雨がしのげる ・ヘルメット不要	・コンパクト（取り回しの良さ） ・操作性 ・転倒しない ・風雨がしのげる	・コンパクト（停車時に邪魔にならない） ・小回り ・乗降性 ・転倒しない ・風雨がしのげる	・気軽さ ・地域の活性化
車両イメージ	・全幅<100cm程度 ・2人乗 ・ドア要 ・100V充電 ・航続距離30~40km程度	・全幅<130cm程度 ・2~3人乗 ・航続距離50~100km程度	・全幅<130cm程度 ・1人乗 ・積載量100kg程度	・全幅<130cm程度 ・1~2人乗 ・最高速度≤XXkm/h（低速）



図 シェアサイクル



図 電動キックボード

出典：国土交通省

■実施主体：富谷市

■実施スケジュール

実施期間	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度以降
	調査・検討					都市拠点での導入

基本方針3

多様な関係者の連携・協働による「使いたくなる交通環境」の実現
(利用しやすさの向上)

行政、交通事業者、市民等が連携・協働するとともに、DXの活用等による市民が使いたいと思える交通環境の実現を目指します。

施策⑩：共通運賃・乗り継ぎ割引の拡充、MaaSの推進

■取組の概要

- ・市民バスと民間路線バスを乗り継ぐ際の運賃割引を検証します。
- ・路線バスの市内移動について、ゾーン制運賃の検討をします。



- ・ルート検索や予約、決済をシームレス化する一元的なサービスである MaaS の推進を検討し、交通事業者や商業・観光施設等の連携を進めます。



■実施主体：富谷市、交通事業者

出典：仙台市

■実施スケジュール

実施期間	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度以降
	割引の拡充・MaaS 導入検討					継続

施策⑪：公共交通利用料金の補助

■取組の概要

- ・高齢者や免許返納者、障がい者の外出支援として、「とみばす」及び市民バス無料乗車の取り組みを実施します。

富谷市で実施している外出支援策

高齢者・障害者外出支援策「とみばす」	富谷市民バス無料乗車証
<p>○対象者：各年4月1日時点で下記①～③に該当する方</p> <p>① 70歳以上の方</p> <p>② 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持している18歳以上の方</p> <p>③ 転免許を自主返納した60歳以上の方</p> <p>○対象交通手段： 宮城交通、仙台市地下鉄、仙台市営バス、Suica エリアのRJR線、富谷市民バス等</p> <p>○助成額：年間2万円（うち1割自己負担）</p>	<p>○対象者：70歳以上の方、障がいをお持ちの方、運転免許を自主返納した60歳以上の方</p> <p>○対象交通手段：富谷市民バス ※自己負担額はなし</p>
	

■実施主体：富谷市

■実施スケジュール

実施期間	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度以降
	→ 継続 →					→ 継続 →

施策⑫：バス待ち環境の改善

■取組の概要

- ・バス停における待合環境向上（屋根やベンチの設置、広告掲載による財源確保、時刻表等表示）の検討、整備します。
- ・利用者の利便性向上の取組として、市民バスの現在地や到着見込が分かるバスロケーションシステムを導入します。

■実施主体：富谷市

■実施スケジュール



実施期間	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度以降
	→ 実施 →					→ 継続 →

施策⑬：普及・啓発活動などのモビリティ・マネジメントの実施

■取組の概要

- ・マイカー移動が当たり前の生活スタイルから公共交通利用を中心とした生活スタイルへの転換に向け、関係課との連携を図り、モビリティ・マネジメントに関する情報発信を行うとともに、職場や学校等でのモビリティ・マネジメントを企画・実施します。
- ・高齢者の免許返納、交通安全確保の観点からも、地域における公共交通の利用促進や生活スタイルの転換に向けた取り組みを進めます。
- ・施策⑫「バス待ち環境の改善」におけるバスロケーションシステムの導入にあたり、使い方について地域での説明会を実施します。

学校教育でのモビリティ・マネジメントのイメージ



出典：国土交通省

■実施主体：富谷市

■実施スケジュール

実施期間	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度以降
	実施					継続

※「モビリティマネジメント」とは、一人一人のモビリティ（移動）が、個人的にも社会的にも望ましい方向（過度な自動車利用から公共交通・自転車等を適切に利用する方向）へ自発的に変化することを促す、コミュニケーション施策を中心とした交通政策のことをいいます。

ゼロカーボンシティの実現に向けた交通施策の展開

基本方針 4

FC バス・EV バスや EV カーの活用など、地域交通の GX（グリーントランスフォーメーション）化等による環境負荷の小さい快適で魅力あるまちの形成を目指します。

施策⑭：環境に配慮した次世代モビリティの導入

■取組の概要

- ・本市では、運輸部門におけるエネルギー消費量が多いことから、公共交通における環境に配慮した技術（FC・EV バスや EV カー、自動運転等）の活用を検討します。
- ・現在運行している FC バス(燃料電池バス)は、水素と空気中の酸素の化学反応により発電した電気力で走行するため、走行時に CO₂ や環境負荷物質を排出しないことから、FC バスの利用やイベントでの啓発を通して、市民の環境に対する意識の高揚を図ります。

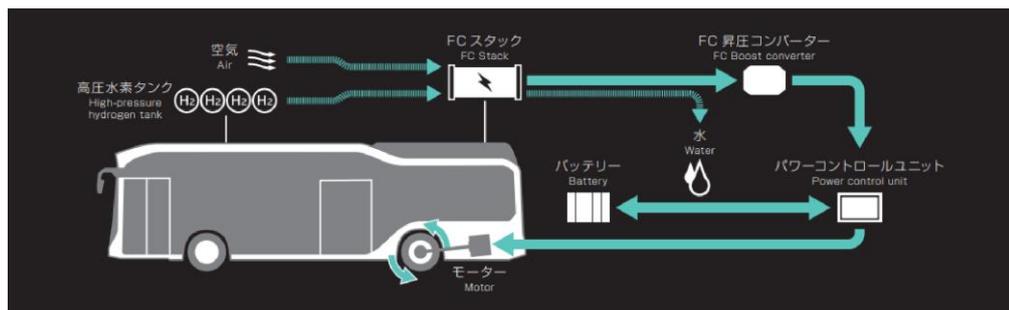


図 FC バスの仕組み

出典：宮城交通

■実施主体：富谷市、交通事業者

■実施スケジュール

実施期間	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度	R12 年度以降
	→ 継続 →					→ 継続 →